

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
kasagi@potato.hokkai.net



みなさま、お元気ですか。
「かおる通信」16号をお届けします。

世界も悲しい出来事が相次ぎ、政治や経済も先行き不透明でみんなが明るい兆しを見つけられないでいます。

しかし、こんな時だからこそ笑顔を大切にして、相手を思う寛容な気持ちが大事だと思います。

私も議会人として2年半が過ぎました。残された1年半の任期ですが、「一日一日が挑戦」との気概を持ち続け、前に向かって歩み続けたいと考えております。

いつでも気軽にお声をおかけください。自分なりに精一杯、「生の声」をまちづくりに反映していきます。

旭川市議会議員 笠木かおる

笠木かおる杯パークゴルフ大会

141名の方々に楽しんでいただきました

笠木かおる杯・親睦パークゴルフ大会を9月30日、東川町のパークゴルフ場で開催していただきました。

はじめての催しでしたが、当日は天候にも恵まれ141名の方々がパークゴルフを楽しみ、ジンギスカンに舌鼓をうたれました。

諸準備にご苦労をおかけする訳ですが、また来年も行ないたいと思います。是非、ご参加ください。

優勝(男)伊藤清志さん	第6位 隠岐義次さん
優勝(女)佐藤待子さん	第7位 宮田 久さん
第2位 菊池徳蔵さん	第8位 高橋 定さん
第3位 松倉政雄さん	第9位 田中豊秋さん
第4位 大門和忠さん	第10位 伊藤慶勝さん
第5位 南 和広さん	ナービ賞 伊藤行子さん

ミニ情報



パークゴルフ愛好家が年々増えるのに応え、嵐山地区に72ホールのパークゴルフ場が造られます。14年に工事着工し17年オープン予定です。また、第2運動公園(東光地区)など7カ所へも整備が予定されています。

笠木かおる夏の夕べ

身に余る激励、ありがとうございました



笠木かおる連合後援会(荻野慶博会長)の主催で、8月23日、「笠木かおるさんを囲む夏の夕べ」を開催していただきました。

議員活動は多くの皆様の支えがあってこそ出来るものですが、一方で大変孤独な仕事でもあると感じています。

当日は、本当に多くの皆さんに足をお運びいただき、皆さまのお顔に励まされ「がんばる」気持ち、新たにさせていただきました。

子育て支援センターなどを視察しました



8月28日から3日間、静岡、鎌倉東京を行政視察しました。

なかでも、静岡市の「子育て支援事業」は先進的な取り組みをすすめており、非常に勉強になりました。

「子育てに対する支援」は、社会全体の課題となっています。旭川市においても、親子が気軽に立ちより、リフレッシュして子育ての楽しさを味わい、自信を生み出す場となる「子育て支援センター」の整備が必要と痛感します。

早速、第3回定例市議会で取り上げました。(裏面参照)

同級生と一時を楽しみました



9月8日に旭川商業高校同窓会がパレスホテルで開かれ、サブ当番期として、同級生とエプロン姿でお手伝いしました。

また、9月23日には市内の居酒屋で市立旭川中学校の第25期同期会が行なわれ、久しぶりに合う同級生に心和むものがありました。「学舎の友」は、歳を重ねるほどに友情がわいてくるものです。

福祉施設のお祭りで感じること



8月26日に「上川更生ハイム祭り」と「旭川ねむのき祭り」、9月1日に「北海道療育園祭」にご案内をうけ、顔をだしました。

前回の自分の選挙の時、ねむのきの園の園生に出会い、かけられた言葉や表情に胸うたれるものがありました。

心身にハンディを背負いながらも明るく生きる姿、その方々をお世話する職員の献身性。福祉施設におじゃまするたびに、可愛らしさ、美しさ、輝きを感じています。

労組大会に顔をだして



私は、全通、運輸労連、療育園労組、NHK労組の推薦をいただき市議会であります。8月~9月に集中して各労組や退職者組合の大会が開かれました。

各労組では様々な課題をかかえ活動していますが、なかでも旭川貯金事務センターが平成15年に小樽へ再編される計画です。私は大会あいさつで「職場を辞めようと思うことだけは止めよう」と訴えさせていただきました。いまの雇用状況では、再就職は本当に難しいからです。

旭川屯田110周年記念式典

8月14日、旭川屯田110周年記念式典が東旭川開村記念碑前で行なわれました。

明治25年、400戸の屯田兵が入植した当時の様子を「一面にいばらが生え茂り、ひぐまがほえ、狐や兎が棲み、大木の茂みで太陽も見えず」と、碑文は伝えています。

先人の労苦があってこそ、今を生きる私たちの環境があると思い知らされるひとときでした。



12年度決算が認定されました

旭川市議会の第3回定例会は9月12日から10月4日までの23日間の会期で開かれました。

今議会は、平成12年度決算の認定と約2億5千万円の補正予算を審議するものでした。

以下、決算委員会で取り上げた私の質問内容（要旨）を報告します。

事業系ゴミの分別は焦眉の課題

- (笠木) 事業系ゴミの分別計画をいつまで策定するか。
(答弁) 13年度中に組成調査を行ない、14年に策定したい。
(笠木) リサイクル団地構想の事業計画を急ぐ必要があるのではないか。
(答弁) 今後、積極的に計画を推進していきたい。

【解説】

いま、江丹別の最終処分場には年間25万トンものゴミが埋め立てられています。事業系ゴミ（会社やお店からくるゴミ）を分別し産業廃棄物を別処理すれば埋立て量を5万トン近くまで減らすことは可能です。

私は、江丹別の次期最終処分場（15年7月使用開始予定）には少なくとも「生ゴミを埋め立てることはやめる」と住民に約束することが大切と思います。

そのためにも、①分別せずに埋め立てられている事業系ゴミの分別を早期に実現すること②資源化施設や堆肥化施設を中心とするリサイクル団地の整備計画を急ぐことーこの2点を強く主張しています。

市民投票制度の導入間近

- (笠木) 市民参加推進条例はいつ提案予定か。
(答弁) 来年の第1回定例市議会に提案予定である。
(笠木) 重要な案件について市民が直接投票する制度を盛り込むべきと考えるが。
(答弁) 検討委員会において、その方向で協議されている。

【解説】

「市民参加」の推進は、菅原市政の根幹をなす課題です。
私は①市民への情報提供の責任②政策決定過程における市民参加の保障③市民投票制度の導入を条例に盛り込むよう頑張っています。

環状線にバスを走らせよう

- (笠木) 環状線のバス運行計画はどうなっているか。
(答弁) 電気軌道と道北バスに運行を要請しているが実現には至っていない。
(笠木) バス事業者、旭川市、利用者、有識者による「協議会」をつくれないか。
(答弁) そうしたことを含め、引き続き「環状線バス」の実現に努力していく。

【解説】

採算性の問題や電気軌道と道北バスの競合の問題もありますが、他路線を含めバス網全体を検討すれば環状線にバスを走らすことは現実的なものです。

「環状線路線バス」の本格運行に努力しています。



豊岡に子育て支援センターができます

- (笠木) 子育て支援センターの整備計画は。
(答弁) 豊岡地区と神楽地区に整備したい。
(笠木) 夜間保育や休日保育の推進計画は。
(答弁) 今後も保育ニーズに積極的に対応していく。



【解説】

子育ての悩みや不安を解消し、困ったときに子育てを応援する施設が豊岡と神楽に明年整備されることになりました。

また、共働きが増えるなかで、夜間や休日の保育体制の整備も大切となっています。

配食サービス事業の全般的実施を

- (笠木) 配食サービス事業が今年、モデル事業でスタートしたが、本格実施の目途は。

(答弁) 高齢者の期待も大きいことから本格実施に努力する。

【解説】

配食サービスの事業がスタートしました。
私も強く取り組んできた事業だけに嬉しいです。

1食400円で、ご自宅まで届きます。対象は概ね75歳以上の一人暮らしの方。

今議会で私は、①対象の希望者には選別をしないでサービス提供すべき②「過疎地には配達できない」ということのないように。田舎に住む高齢者こそ買物は大変だ③来年から全市的に実施を一以上3点を主張し、本格実施にむけがんばっています。

北星のぞみ荘の早期建て替えを

- (笠木) 北星のぞみ荘、つつじ学園、緑風苑の建て替え計画はどうなっているか。

(答弁) 市の厳しい財政状況もあるが、早急に検討していきたい。

【解説】

北星のぞみ荘は市の施設で、なんらかの理由で父親と生活できなくなった母子が自立するまでの間、生活している施設です。しかし、風呂もなく瞬間湯沸かし器も構造上つけられません。8畳弱の部屋で冷蔵庫と洗濯機とストーブ、テレビを置くだけが精一杯で子供机を置くスペースもないのです。

つつじ学園は市の知的障害者施設です。現在70人が入所していますが平均年齢は51歳。8畳の和室に4人が生活するという現状です。

緑風苑は市の養護老人ホームですが、ここも老朽化がはげしい施設です。

なんとか早く、すこしでも良い空間で生活してもらいたいものです。

介護保険料軽減制度の拡充を

【解説】

年間の収入金額が生活保護基準額以下の方は介護保険料を軽減する旭川市独自の制度がスタートしました。しかし、預貯金を年間の生活保護費（約120万円）以上お持ちの方は対象とならないことを指摘し、制度の緩和を求めています。

今議会ではこのほかの質問もさせていただきましたが、紙面の都合で省略させていただきます。

大きなご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。

